

---

# くだらないしょーとすとーりー。

風邪にやられた名無しさん。

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

くだらないしょーとすとーりー。

### 【Nコード】

N1437Y

### 【作者名】

風邪にやられた名無しさん。

### 【あらすじ】

久しぶりに風邪を引いたらなんか浮かんだ題名通りの作品。

先に言い訳しておく、全部風邪のせいさ！

(前書き)

てけとーなコメディ。

???

兄「あれ？ここどこだ？」

兄（目が覚めると、知らない天井の見えるベッドに寝転がっていた。

たしか昨日は久しぶりに風邪引いて、辛いから早く寝たはず…）

????「お気づきになられましたか」

兄「誰だ？ 姿を見せる？」

妹「私です」

兄「なあんだお前か」

妹「はい、私です」

兄「あのさ、妹はここどこだかわかるか？」

妹「はい、ここは私たちの家がある街より30km離れた場所にある病院の一室です」

兄「へえー……って何で？」

俺昨日39.5°Cの熱出て辛かったけど、医者には

行ったはずだよ？」

妹「……理由が知りたいですか？」

兄「あ、ああ（なんだよ、急に改まって……）」

妹「本当に知りたいですか？」

兄（まさかもう俺は永くないのか？）

兄「（……それでも）知りたい」

妹「本当にいいんですね？」

兄「……ああ」

妹「では、お話ししよう」

妹「お兄様がここに、遠く離れた病院にいる理由は……」

兄「ごくり……（お兄様？）」

妹「……お兄様が“あの対戦ゲーム”強すぎるからです」

兄「……は？」

妹「ですから、お兄様がいると強すぎてつまらないから何処かに今日だけ入院させてしまおうと」

兄「はあ？ え、何？ たかがゲームが強いだけで俺は入院させられたの？」

妹「はい」

兄「有り得ねえっ？ 何処かのウニ頭の不幸な少年より有り得ねえっ？」

妹「ですが、これが現実です」

兄「……ん？ じゃあ何でお前もここにいるんだ？

お前ってそんなにゲーム得意だったっけ？」

妹「いえ、わたくしはそれほどつよくはありません。  
むしろよわいともいえましょう」

兄「じゃあ、何で？（口調が変わった？）」

妹「わたくしはおいしゃさまにみてもらっていたのです」

兄「医者？ それまた何で？」

妹「じつはわたくし……いじめをうけているのです」

兄「はあ？ 何だよそれ！ 何されたんだよ？」

妹「そんなにつよくつかみかからないでください。  
かたがたいです」

兄「ああ、すまん」

妹「いえ、おきになさらないでください」

兄「で、いじめって何されたんだよ？」

妹「はい。それが……」

兄「それが…？」

妹「わたくしのゆびのあいだをしゃーペンでダンダンと」

兄「……は？」

妹「ですから、わたくしのゆびのあいだをしゃーぷペンでダンダンと」

兄「それで？」

妹「？ それでゆびにしゃーペんのしんが」

兄「……それで？」

妹「？ それだけです」

兄「ここは妹だとかの鼻屑目を抜きにして、率直な感想を言わせてもらおう」

妹「はい…？」

兄「それ、ただのゲームじゃん！」

妹「げーむ…とは？」

兄「さっき口に出してただろう？」

どこぞの楠さんもビックリだよ！

つーかだからそんな口調だったのかよ！」

妹「てへっ、バレちゃいました？」

兄「ああ、バレバレだよ。

……で、お前はそれ誰かに相談し（ちまっ）たのかよ？」

妹「はい、お姉様に」

兄「で？ どう対処したんだ、ウチの姉君様は？」

妹「やってきた友達のシャーペンを全部目の前で折りました」

兄「なんだよその対処法？ つーか今“友達”って言ったよな？」

妹「すると、その友達は私に謝ってきました」

兄「不憫すぎるし、開き直ってんじゃねえよ！」

妹「まあ、気にしないことですよ。ウチのお姉様ですから」

兄「問題が全部お前にあると思うのは俺だけなのか？」

妹「因みにお姉様は今お母様とお父様と一緒にゲームをしています」

兄「少しは悪びれるよ姉！」



妹「いやあ、お兄様がないので楽しんでいるんじゃないでしょうか？」

お兄様がいなければキャラの服もビリビリに破れたりしませんし」

兄「それなんて女王の剣だよ？」

妹「それにお兄様の大好きな陵 シーンも見なくてすみませすし」

兄「それなんてエロゲ？ つか、家族揃ってやるモンじゃねえし、やったこともねえ！」

妹「だがしかし。 お兄様の本棚の後ろにはたくさんエロゲが……」

兄「何？ いつ気づいた！」

妹「気づいてませんよ？ いやあ、カマをかけてみるものですね」

兄「くそっ……！（場所を変えるか……洋服箆笥の洋服の下に）」

妹「そんな場所に隠すんですか。 へえ、洋服箆笥の洋服の下にだなんて」

兄「読心能力？ つーか、兄の部屋を勝手に家捜ししようとするんじゃないありません！」

妹「そんなこと言っているとお兄様の大切な『姉と妹 辱祭り！ 妹ルートが充実充実！』をお母様に見せますよ？」

兄「すみませんでした」

妹「わかればよろしいんです」

兄「はい」

妹「では、今度一緒にやりましょうね？」

兄「……何を？」

妹「ナニをだなんて、お兄様ったら……」 / / / /

兄「言つてねえよ！ 何を？つて聞いたんだよ！」 / / / /

妹「まあ、必死になって可愛らしい

ですが、ご期待に添えれずごめんなさい。

私が言っているのは『先程のゲーム』と一緒にやりましょ

う……ということですよ」

兄「なあんだ……つて、はあ？

さ、さささ、先程のゲームつて？」 / / / /

妹「『姉と妹 祭り！妹ルートが充実充実！』のことですか？」

兄「やめて言わないで。 なんだかムズムズしてくるから」

妹「ムクムクではなくて？」

兄「違えよ！」

妹「あ、因みに断つたらお姉様にお見せします」

兄「何卒それだけのご勘弁を。姉君に知られたら俺、女の子にな  
っちゃう」

妹「お兄様がお姉様に……」

兄「そんなことになったら嫌だろ？」

妹「……案外いいかもしれません」 / / / /

兄「やめてえっ！」

(後書き)

つまらなかったかな？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1437y/>

---

くだらないしょーとすとーりー。

2011年11月2日03時18分発行